

新たな森林環境管理体制の推進

H30:30百万円 (H29:19百万円)

長引く林業不振等による施業放置林の増加や、豪雨による森林災害が多発するなか、県ではスイスを参考として森林の有する本来の機能である「生産・防災・生物多様性・レクリエーション」を一元的に管理する「奈良らしい新たな森林環境管理制度」の導入を目指す。

- 平成29年度は、平成27年4月17日締結のベルン州との友好提携を基本に、平成28年11月16日に締結したスイス・リース林業教育センターとの友好提携を活用して、リース林業教育センターからの実習生の受入や、校長先生の奈良県への招聘、ベルン応用科学大学が開催するサマースクールへの林業関係者の派遣等を実施し、スイスの制度等についての知見を深めた。
- 平成30年度は、平成29年度の成果を踏まえ、新たな森林環境管理制度の導入に向けて各取組を進めていく。



平成30年度の取組

新たな森林環境管理制度構築に向けた検討・準備及び林業事業体等への周知

- ・リース林業教育センターへ総合アドバイスを委託
- ・(仮称) 森林環境管理条例制定に向けた検討
- ・ベルン州への林業事業体等の派遣
- ・恒続林への誘導技術の検証

新たな森林環境管理体制構築に向けた検討・準備

- ・リース林業教育センター短期講習へ県・市町村職員等を派遣
- ・平成31年実施のリース林業教育センター実習生受入準備
- ・県・市町村が連携した森林環境管理体制構築に向けた調整

新たな森林環境管理に必要な人材育成の仕組みについて検討・準備

- ・(仮称) 奈良県フォレスト・アカデミー開校に向けたカリキュラムの検討 など

新 中高大連携森林学習プロジェクト

- ・森林の多面的機能と林業の重要性への理解を深めるため、中高生を対象とした県内大学生による出張講義等の森林・林業学習プログラムモデルを実施



スイス・リース林業教育センター



スイス・リース林業教育センターから受け入れた実習生

<問い合わせ先>

(新たな森林環境管理制度)

農林部新たな森林管理体制準備室 松田室長補佐 (内線3991)

(中高大連携森林学習プロジェクト)

農林部森林整備課

山中課長補佐 (内線3971)

農・畜産・水産業の振興と 農村の活性化

■担い手対策

- ⑧**新たに就農を希望する女性の支援[3]
農業参入の講義に農作業や加工・販売体験を組み合わせた実践的なセミナーを開催
- ⑨**新規就農者の初期投資に対する支援[15]
園芸施設や農業用機械のリースでの導入を支援
- 若者の農業経営チャレンジへの支援[6]
近畿大学発農業ベンチャー事業の育成支援

■6次産業化の推進と美味しい「食」づくり

- N A F I C 周辺施設の充実[419] 【一部2月補正】
セミナーハウスの整備推進、農と林の直売所や漢方・薬草をテーマとした集客施設の基本計画策定
- ⑩**中央卸売市場再整備基本計画の策定[17]
安全・安心で、県民や観光客が訪れる賑わいのある食の拠点づくりに向けた施設整備基本計画策定
- ⑪**給食等における県産食材の提供[5]
学校、病院等の給食や子ども食堂で新鮮な県産食材による「美味しい食事」を提供

■ブランド化の推進

- リーディング品目、チャレンジ品目の高品質化・安定生産に向けた支援[20]
リーディング品目：柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚
チャレンジ品目：大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ
- ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」の推進[14]
試食販売会によるPR等
- ⑫**国際水準GAP（農業生産工程管理）認証取得の促進[5]
指導人材の育成、制度PR及び認証取得に必要な環境整備を支援等

■国内外への販路拡大

- 香港F o o d E x p o への県産農産品出展支援等[9]
- 大田市場等での県産農産物トップセールス、**⑬**首都圏の自治体と連携したPR、「ときのもり」を活用したPR等[42]



奈良県プレミアムセレクト（古都華）



首都圏市場セールス（柿の試食PR）

林業・木材産業の振興と 新しい森林環境管理体制の構築

■県産材の安定供給と加工・流通・利用拡大

- 木材生産の拡大[312]
奈良型作業道の開設、高性能林業機械の導入促進、備かる林業施業提案の推進、架線集材施設設置支援等
- ⑭**リースによる林業機械導入を支援[10]
- 加工・流通・利用拡大[119]
チップ製造施設等の整備支援、十津川村等による産直住宅の取組支援、県産スギ材を用いた弦楽器の製作、**⑮**県産材を使用した家具等の職人の育成支援、**⑯**県産材を使用した設置・撤去が簡易なイベント用施設の検討等
- ⑰**林地台帳の適正管理[16]
市町村における林地台帳の適正管理に必要な森林GISの導入を支援

■国内外への販路拡大

- 県産材の東南アジアへの輸出拡大に向け、建築関係者・バイヤー・企業等とのマッチング支援等[8]
- 早稲田大学や協力企業と連携した県産材首都圏PRイベントの実施、有名建築家と巡る「奈良の木」見学ツアーの開催等[25]
- 奈良の木の魅力情報の発信[7]
奈良の木ポータルサイトの充実、プロモーション活動の展開

■奈良らしい森林環境管理体制の構築

- 新たな森林環境管理体制の導入推進[25]
スイス・リース林業教育センターとの友好提携を活用した新たな森林環境管理体制の検討（仮称）森林環境管理条例の検討、リース林業教育センターへの職員派遣（仮称）奈良県フォレスト・アカデミー開校に向けたカリキュラム検討等
- ⑱**中高大連携森林学習プロジェクト[5]
県内大学生による中高生向け森林・林業学習プログラム（出張講義、林業体験等）の実施



高性能林業機械と架線による木材生産



スイス・ベルン州の森林を視察する奈良県の林業関係者

**奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、
県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。**


- ・インバウンド需要は止まることを知らず増幅を続けており、日本の各観光地による争奪戦の様相を呈しています。
- ・そこで、本県では、県と有志市町村が共同で「(仮称)奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」の策定に取り組み、連携・協働して同ビジョンの実現推進を図ります。

1 観光地としての奈良の魅力づくり

20年後に見込まれるリニア中央新幹線の「奈良市附近」駅設置を見据え、リニア中央新幹線のインバウンド観光需要などを積極的に取り込んだ地域振興の実現を目指したビジョンの検討を進めます。 2百万円

(1) 滞在型観光の充実「泊まる奈良」

① 宿泊施設の質と量の充実(Accommodation)

- | | |
|--|--|
| I 大宮通り・奈良公園周辺における宿泊施設充実のための環境整備
5, 285百万円[債務負担行為499百万円]
大宮通り新ホテル・交流拠点整備
吉城園周辺地区の整備、高畑町周辺地区の整備 | 
<small>大宮通り新ホテル・交流拠点の整備イメージ</small> |
| II 海外ホテル事業者等を対象とした誘致活動 | 3百万円 |
| III [新] 住宅宿泊事業法への対応
民泊事業者に対する指導・監督
セミナー等を開催し開業を支援 | 4百万円 |

③ 食の魅力向上(Appetite)

NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校) 周辺の賑わいづくりを推進 419百万円



② 滞在環境の快適性の向上(Amenity)

- | | |
|--|--------|
| I [新] 外国人観光客の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、市町村等による受入環境整備を支援 | 40百万円 |
| II 外国人観光客の県内周遊と滞在を促進するための市町村等による地域ならではの先駆的で意欲的な取組を支援 | 10百万円 |
| III [新] 歴史等の知識を有し、語学能力に優れた奈良県内で活躍する地域通訳案内士を育成 | 4百万円 |
| IV [新] JR・近鉄奈良駅周辺の沿道景観づくり等 | 64百万円 |
| V 奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」の運営 | 197百万円 |
| VI 多言語コールセンターの運営
対象 観光施設、 [新] 医療機関 | 4百万円 |



インバウンド観光戦略20年ビジョンプロジェクト

1 観光地としての奈良の魅力づくり

(2) 移動・周遊環境の充実「巡る奈良」

効率的な交通・道路体系の形成(Access)

- I **[新]**外国人観光客の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、交通事業者等による受入環境整備を支援 37百万円
- II 安全・安心で快適な移動ができるよう、観光地周辺において交差点改良や歩道整備等を実施 1,272百万円
興福寺周辺、薬師寺周辺、法隆寺周辺
＜参考＞三条大路2丁目交差点の北行き右折レーン2車線化がH30年2月中に完了
- III リニア中央新幹線「奈良市附近」駅を中心とした交通体系の調査・検討 25百万円



ユニバーサルデザインタクシー

(3) 豊かな観光資源の活用「活かす奈良」

① 歴史・文化資源の保存・活用(Attraction)

- I (仮称)奈良県国際芸術家村の施設・設備等の整備推進 724百万円[債務負担行為8,078百万円]
- II 2020年に日本書紀編纂1300年を迎える「記紀・万葉プロジェクト」の推進 37百万円
- III 文化財の積極的な整備・活用を進める市町村に対する支援等 194百万円



(仮称)奈良県国際芸術家村の整備イメージ

② 楽しい奈良の実現(Amusement)

- 四季を通じた文化・スポーツイベントの開催 615百万円[債務負担行為11百万円]



リレーマラソン

2 対外プロモーションの強化

- I **[新]**「ジャポニスム2018」への出展 129百万円
- II 奈良の仏像をパリ・ギメ東洋美術館等の海外著名美術館で展示 152百万円
- III 海外市場開拓プロモーション 37百万円
- IV **[新]**デジタルを活用した海外への情報発信 12百万円

3 国際交流等の推進

- I コンベンション施設の開設に向けたMICE誘致の強化 8百万円
- II 東アジア地方政府会合の開催 96百万円
- III ACCU・橿原考古学研究所等と連携し、文化財保護に関する国際交流を推進 37百万円

4 観光振興の土台づくり

- I **[新]**県立大学における観光産業を担う専門人材の育成等 32百万円
- II **[新]**おもてなし環境の充実に向けた外国人観光客動向調査 14百万円